

2010.3

発行/坂城町商工会
 〒389-0601 長野県埴科郡坂城町
 大字坂城10051番地
 TEL 0 2 6 8 - 8 2 - 3 3 5 1
 FAX 0 2 6 8 - 8 2 - 8 2 2 8
 E-mail cci@sakaki.com
<http://www.sakaki.com/cci/>

題字/商工会長・鈴木秀典 発行人/関戸啓司 印刷/サンプリント印刷



〈主な内容〉

- P 2 お客様大感謝祭
- P 3 地域経済振興懇話会
- P 4 建設部会「何でも住宅相談」他
- P 5 お知らせ～雇用調整助成金
- P 6・7 シリーズおじゃまします
- P 8 青年部・女性部 編集後記

まちかど

お客様大感謝祭 ～いつもありがとう～

今回で4回目となる「お客様大感謝祭」。昨年からはじめてゲーム抽選会は、大人気。

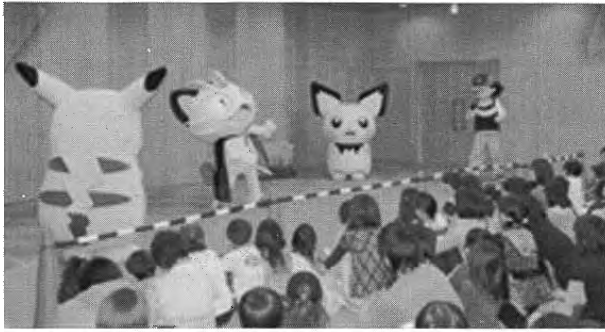
コツをつかんだお客様もいて、朝10時から3時過ぎまで行列ができました。景品はほぼ出尽くし、大勢のお客様に楽しんでいただきました。

日頃のご愛顧に感謝 「お客様大感謝祭」

平成21年10月17日(土)にお客様大感謝祭を開催いたしました。

日頃のご愛顧にお応えし、期間限定特別大セールを展開することにより、地域の発展に資することを目的としています。

昨年に引き続き、鉄の展示館前での開催となり、天気が心配されましたが、3時まで持つことができました。また、にぎわい創出イベント



コミュニティーセンターではポケットモンスターショーが行われた。



一時、道路を横切る程の長蛇の列

ントとして、町産業振興課と協力し「魔法使いアキッド マジックショー」「ポケットモンスターキャラクターショー」「さがせ!ピチューのおとしもの」なども同時開催いたしました。

「2年目のスロット抽選」

その場でわかる抽選会となつてから、いつでも抽選ができるため、大変好評を得たように思います。

特に今年は、新商品券が発行され、その記念として1等から3等までの高額商品はすべて商品券といたしました。

スロットを使った確立変動で当たるともあり、主催者側でもいつ当選が出るかわからない状況の中で大変な盛り上がりを見せました。昨年と違う点は、抽選回数が多いお客様にはなにかしらの当選が出たこと。

景品量を増やしたことで、高額商品はすくなくまりましたが、お味噌、醤油、洗剤など日用品がたくさん当たりました。

なかでも、午前中は長蛇の列となり、スロットの回転状況により、早い段階で高額商品が出ることもありました。

「番号くじの設定」

会場に来ることが出来ないお客様には、番号くじとして200本、また、1等1万円などの景品を別に設定しました。

残念ながら、当選されたにもかかわらず交換に見え



「なんだかよくわからん? 当たった?」



「アキッド」さん大人気!

ない方もかなりの率であり、来年の研究課題となりました。

「来年に向けて」

お客様感謝祭というスタイルにかえてから、4年間、様々な方策をかんがえ、少しずつ改善をおこない、今日にいたっております。

課題もたくさんありますが、目的はイベントを通じた地域の活性化であり、

主体はあくまで地域の事業者の皆様にあります。

どんなメリットが参加者と加盟店にあるのかという議論も、主催者側として模索しながら、時代の変化とともに姿を変え、喜んでもらえるよう研究して参ります。会員の皆様には、ご意見等お気軽に頂戴したいと存じます。

《住宅なんでも相談会》

建設部会では、11月8日(日)に第2回目の「住宅なんでも相談会」を開催しました。

坂城町商工会館に部会幹事10名が出席し、午前9時〜午後1時まで6件の相談にお応えしました。

1 良い業者の紹介を

住宅建築にあたり業者を選ぶ知識がないし、近くには他人の話を聞いたり、住宅を見にいったりして決めるしかありませんが、良い業者を紹介してもらえないでしょうか。
また、町内業者は何件ありますか。

アドバイス

親身になってお客様のことを考えアドバイスする業者を選ぶことが大切だと思います。
坂城町建設部会の業者さんは87社です。ぜひ、地域の皆さんと信頼関係を築いている地元建設業者(坂城町商工会建設部会員を)を命ください。

2 外壁塗装について

外壁塗装について、チラシ(住宅なんでも相談会)のQ&Aに外壁塗装の塗料「ウレタン系」・「シリコ

ン系」・「フッ素系」とありますが、一番持ちが良いのはどれでしょうか。

アドバイス

耐久性は、どれもあまり変わりませんが、あえて言えば耐久性の高い順に、①フッ素系②ウレタン系③シリコン系です。コストも同じ順番となります。
ただし、水垢等の汚れ落ちは、フッ素系が一番です。汚れが雨でよく落ちます。

3 建物の

解体について

藁ぶき屋根の建物解体について、業者を紹介して欲しいのですが。

アドバイス

建物解体は、建築関係の業者であれば大抵対応できます。単価は、物件により異なりますので見積りを出してもらってください。
(相見積り等)

4 自然舗装について

自然舗装について、玄関の段差を解消するため舗装を検討しています。
①2m×3mの広さですが舗装できますか。
②下地にコンクリート舗装してありますが、自然舗装可能ですか。
③値段はどのくらいになりますか。坪単価は、どのくらいでしょうか。

アドバイス

①2m×3mの広さでも舗装可能です。
②自然舗装は浸透性の舗装のため、下地のコンクリートは除去する必要があります。
③m単価は約8000円です。コンクリート舗装の2倍くらいです。
(下地舗装除去工事は別途)

5 食洗機の

修理について

9年ほど使用している食洗機のレバーが壊れてしまいました。主に食器乾燥のために使用していました。費用がかかるので自分で直したいのですが...



アドバイス

食洗機レバーは安全性装置にもなっていますので、ご自分で直すのは難しいと思います。取付け業者さんに修理を依頼していただくことが一番良いと思います。

6 窓の断熱性

向上について

住宅北側の窓の断熱性を向上させて冬の寒さに備えたいのですが。

アドバイス

次の二つの方法が考えられます。
①既存サッシのガラスをペアガラスに入れ替える。
②カバ工法で外側にサッシを新設する。
断熱効果は、②の方が高いのですが、費用はかかります。

住宅何でも相談会アドバイザー(出席者)

役名	氏名	事業所名
部会長	竹中伸朗	竹中建設
副部会長	笠井謙敬	笠井建設
"	富沢武嗣	富沢電気工事
幹事	金子友美	金子防水興業
"	中沢勝信	中沢板金工業所
"	山崎五男	ヤマザキ装飾
"	荒城善明	荒城建築設計事務所
"	鈴木好明	協同設備
"	谷川文男	谷川建築
参与	高橋 要	髙峰建設

「町工場は日本の宝・地域の誇り」

新春経済講演会

平成22年2月4日にテクノセンターでジャーナリスト・キャスター、信州大学経営大学院客員教授の三神万里子氏の講演会が開催されました。

「中小企業の生き残り戦略」と題した講演会では、国際情勢から、日本の中小企業の現状、イノベーションの有望分野など多岐にわたりました。時間が限られていたこともあり、地域に根ざす中小企業にとって具体的な方策まで切り込むことができない部分がありました。が、グローバルに躍動する世界経済の下支えになっっているのは、まぎれもない中小企業の最先端技術であることが実感できる講演会となりました。



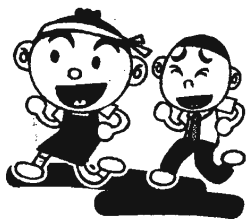
まずは、一緒に
考えてみませんか！

「あきんど駅伝」

情報化社会が加速してお
りませんが、いたずらに大企
業のような広告宣伝の手法
に乗るのではなく、お客様
に対して、商品やサービス
を「知ってもらおう」仕組
みを、地道に作り上げること
を目的にしております。

参加者を随時募集して
おります、3月に第一回目を
発行し、定期発行は参加者
同士で研究していく予定で
す。

当初の広告費用は、一社
一枠5千円(予定)。一色刷
りのB4サイズのチラシを
作成し、新聞折込みを行
います。
興味のある方は、ぜひ商
工会までご相談ください。



雇用調整助成金・中小企業緊急雇用安定助成金について

～雇用する労働者に対し休業、教育訓練又は出向を行い、その雇用の維持を図る事業主を支援します～

◆助成金の概要◆

景気の変動、産業構造の変化などの経済上の理由により事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、一時的に休業、教育訓練又は出向により、労働者の雇用の維持を図る場合、その賃金等の一部を助成します。

◆支給対象◆

- ◎支給対象事業主：雇用保険適用事業所
- ◎支給対象労働者：雇用保険被保険者(被保険者であった期間は問いません)

◆支給要件◆

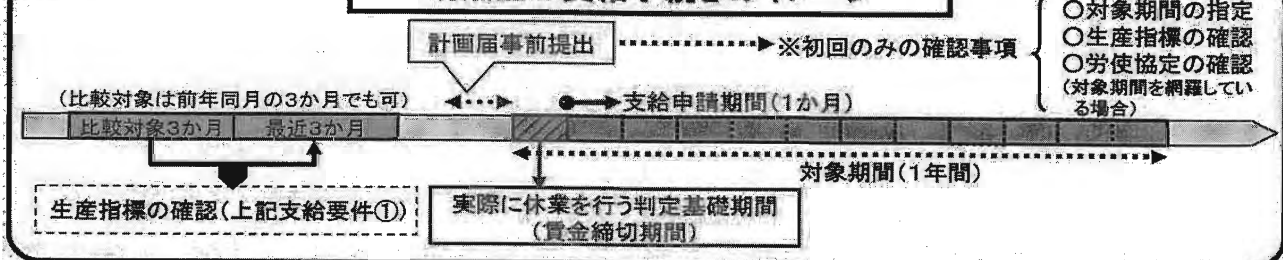
- ①最近3か月の生産量、売上高等の指標がその直前3か月又は前年同期と比べて5%以上減少していること(中小企業で前期決算等の経常損益が赤字の場合、5%未満の減少でも可能)
- ②実施する休業、教育訓練及び出向が労使協定に基づくものであること(計画届の提出時に協定書の提出が必要) 等

◆受給手続き◆

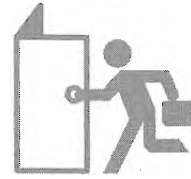
本助成金は事業主が指定した1年間の対象期間について、実際に休業を行う判定基礎期間(賃金締切期間)ごとに事前に計画届を提出することが必要です。支給申請期間は判定基礎期間終了後1か月以内です。(下記イメージ参照)

助成内容	大企業(雇用調整助成金)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 休業、教育訓練、出向に係る費用の助成率：2/3 → (障害のある人の休業等及び出向については、3/4) ▶ 教育訓練実施に係る加算額：4,000円 	<p>解雇等を行わない場合</p> <p>2/3 ⇒ 3/4</p> <p>4/5 ⇒ 9/10</p> <p>※解雇等は雇止め、派遣労働者の中途契約解除等を含みます。</p> <p>※教育訓練実施に係る加算額を除いた日額は7,730円が上限。</p>
	中小企業(中小企業緊急雇用安定助成金)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 休業、教育訓練、出向に係る費用の助成率：4/5 → (障害のある人の休業等及び出向については、9/10) ▶ 教育訓練実施に係る加算額：6,000円 	

助成金の受給手続きのイメージ



※支給要件は前々年同期10%減も可能になりました。(詳細別紙)



おじゃまします

さかき新企業人インタビュー⑦

なかざわいくお
中澤郁夫さんプロフィール

有限会社中沢商店 代表取締役

昭和49年生まれ。屋代南高校、国土建設学院設備工学科・土木工学科卒。専門学校時代に発生した『阪神淡路大震災』を目の当たりにし、自身が携わる管工事・設備業が社会生活のライフラインとしていかに大切かを痛感したという。最近は新規工事にとどまらず、継続的な保守点検業務にも力を入れるなど新たな事業展開を模索している。お母様と奥様、2人の女の子の5人家族。趣味は学生時代にはじめたオートバイ・ジムカーナ競技。

設備メンテナンスを通じて 住宅や建物の『ホームドクター』 を目指す



急逝されたお父様の遺志を継ぎ、若くして祖父が創業した会社の経営を任された中澤郁夫さん。学生時代に目の当たりにした『阪神淡路大震災』の経験が仕事に携わる上で大きな柱になっていとおっしゃいます。

御社のこれまでの足跡をお聞かせください。

「当社は祖父が昭和32年に創業し、私で3代目です。当初は農業や農機具を扱う店でしたが、農薬を散布する際に、消毒用水の配管を設置する需要があり、それから徐々に畑灌用水や町営水道、家庭用上下水道など管工事全般を取り扱うようになりました。坂城は工業の町ですから工場向けの設備が多く、普及率の低かった下水道の需要もあって業績は堅調でした。私が戻ってきた頃はオリンピックの特需や消費税の駆け込み特需があり、下水道や道路等のインフラ整備が進められた時代でした。しかしその後はなだらかに下降線をたどっている、というのが現状ですね」

中澤社長が会社を継がれたのはいつですか？

「中学、高校の頃、建設業は3Kといわれ敬遠され、父からは「家業を継がなくてもいい」といわれていました。しかし自分としては祖父と父が築いてきたこの仕事を守りたいと思い、高校卒業後は東京の国土建設学院に入りました。そこで設備を2年、土木を2年学び、実家に戻りまして。ところが2年程して父が急逝したことから家業を継いだのです。祖父やまわりの方々のおかげがあって、どうにかやってこられた、というのが今の実感です」

これまでお仕事をされて印象に残っていることはありますか？

「学生時代に『阪神淡路大震災』が発生しました。非常に衝撃を受けましたね。ショッキングな光景や実態は授業でも取り上げられ、自分たちがやっている土木、設備がいかに市民生活に大切なものかを痛感しました。この仕事を続けていく上で肝に銘じておかなければならない教訓になっています」

今後の抱負、事業の方向性等をお聞かせください。

「リーマンショック以降は設備投資の落ち込みもあって厳しい状況です。これまでのように新規着工の増加は見込めませんが、工場設備にしても一般住宅にしても、これからは設備全般の維持管理や修繕といった事業にシフトしていきたいですね。設備機器についていえば、耐久性のある製品が増えていきます。より良い製品をいかに長く使ってもらえるかが大切だと思います。そのためには計画的なメンテナンスがますます重要になります。それに合わせて、例えば住宅なら設備のメンテナンスでご家庭を訪問させていただく際、我々の専門分野だけでなく、建物や外構、庭まわりの点検も一緒に、気付いた点があればお客様にアドバイスさせていただく、といったサービスもあるでしょう。いわば『住まいのホームドクター』です。そういうきめ細かなサービスを行的にいくことで、事業の安定化を図ることもできるのではないかと考えています」



おじゃまします

さかき新企業人インタビュー⑧

はやし ひろき 林 裕規さんプロフィール

株式会社はやし(サンルイスハヤシ) 代表取締役
昭和35年生まれ。駒澤大学経済学部卒。大学卒業後、1年間渡米・サンルイスオビスポ市に滞在。帰国後東急ハンズに就職し、2年後、郷里に戻り家業を手伝う。東急ハンズ時代に培ったネットワークとアイデアをいかした商品群はバラエティー豊かで、地元になくならないお店として幅広く支持されている。敬虔なクリスチャンでもあり、日曜日は夫婦で教会におもむく。讃美歌に魅せられ、自身でも演奏する。

お客様の笑顔をイメージして 商品を仕入れる 地元に着した「雑貨屋」さん



若い頃1年間アメリカで過ごし、その時滞在した西海岸の町が気に入って店の名前も「サンルイスハヤシ」に改称したという林社長。好奇心旺盛で、大らかな人柄をそのまま感じさせるお店でお話をうかがいました。

—— 御社の歴史をお聞かせください。

「私は4代目ですが、創業は大正10年、建築金物の販売が始まりました。いわゆる雑貨屋ですね。生活用品を中心に地元のニーズに合わせて徐々に品数を増やしてきました。父の代にシャデイのフランチャイズに加盟し、冠婚葬祭や季節の贈答品も扱うようになりしました。駅前にあった店を今の場所に移したのは25年前ですが、そのとき店名を「サンルイスハヤシ」に改称しました。10年前には「サラダ館」にも加盟しましたが、その頃から家庭雑貨や文具、玩具、菓子類、衣服、インテリア小物、ファンシーグッズなど、さらに商品構成の幅も広がり、現在のような店構えになりました」

した」

—— サラダ館に加盟したのは社長のお考えですか？

「ご存知のようにシャデイはカタログ販売、サラダ館は店舗販売です。同じギフトでもシステムが異なりますが、来店されるお客様が直接商品に触れてもらえるように思っていたからです」

—— 取扱商品をみると、強力なライバルとしてホームセクターがあげられますね？

「ホームセクターとはよく比較されます。しかし、価格や品数で勝負するつもりはありません。それよりも地元で根ざした店でありたいと思っています。お客様一人ひとりの顔を思い浮かべながら、例えば洋服を仕入れるときは『この服はあの人にピッタリだな』とか『このエプロンはあの方に似合うだろうな』とか、そんなことをイメージしながら商品を仕入れています。それと、品切れがないようにすることも大切ですね。遠くへ行けないお年寄りのお客さまも多いので、釘1本、石鹸1個でも『あるものがないと困る』といった不便を感じ

させないように心がけています。地元密着が私たちの生命線ではないかと思っています」

—— 売り手と買い手、お互いの顔が見える商売ということですね。そういう意味では最近始められた生鮮野菜の直売はおもしろい試みですね。

「今まで扱ってきた商品は腐らないものばかりですから、生鮮品の扱いは難しいですね(笑)。お客様の役に立つ店、新しいサービスということでは地元農家の方にご協力いただいていたのですが、毎日来てくださるお客様も増えて評判は上々です。冗談や会話が楽しめるアットホームな雰囲気喜ばれているでしょう」

—— その他、何か考えておられることはありますか？

「野菜もそうですが、『手づくり』ですね。妻がメインでやっているのですが、手づくり作家さんたちの洋服や布・小物なども面白いアイテムです。主婦グループの間で流行っていて、私たちもそういうイベントに参加したり、お手伝いをしてるんですよ」

青年部

2010年始動!

青年部副部長 竹鼻裕司

昨年4月の総会より中島代表を中心とした新体制になり、10ヶ月が過ぎようとしています。坂城町商工会員の皆様には日頃、青年部活動にご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。さて、新体制になり、恒例の行事に加え、新しい事にもチャレンジしました。その中のひとつが、「第9回A・B・NふるさとCM大賞」参加です。CM作りという今までに無い分野に挑戦しました。

まず、斉藤制作課長の下、CM製作課を立ち上げ、アイデアを出し合いました。過去の坂城町の作品では、名産品や観光的なCMが作られていましたが、今回は「工業の町としての坂城町」をアピールするCMを作ることになりました。身近に工場があり親の仕事を手伝った子が目にすることも多く、そんな風景を表現しようという事になりました。撮影、編集、全て部員が行い、プロ顔負けのすばらしい作品が出来



上がりました。そして、第一次審査を通過し、見事TV出演が決定しました。TV出演用のプレゼンの練習をみっちり行い、本番を迎えました。本番では、想定外のこともありましたが、なんと！優秀賞(八十二銀行賞)を受賞することが出来ました。結果はもちろんですが、新しい事にチャレンジして良かったと思います。このCMは、年間50回A・B・N長野朝日放送で放映されますので、機会がありましたらご覧下さい。

また、恒例行事としては、37回目を迎えた年末チャリティーを行いました。内山委員長、富田副委員長が中心となり、あいにくの雪の天気でしたが、部員全員が力を合わせ、大成功のうちにと終わらせることが出来ました。ご協力頂いた女性部他、皆様ありがとうございます。

女性部

女性部副部長 清水路子

滝沢部長の下、新体制で発足した女性部の活動も終盤を迎えました。まずは青年部主催年末チャリティーのお手伝いです。大晦日の夜ありったけ着込んで馳せ参じた精鋭六人、息もびつたり掛けそばの定位置につきまます。その手早いこと、お客様に代金をいただく前におそばが出来上がります。冷え込みがきつく小雪の舞う生憎のお天気でしたが大勢の皆様にお出かけいただき大盛況で和気藹々のうちに新しい年を迎えました。

あつという間にお正月も終わり次は恒例の研修旅行です。今年は熱海・山梨の旅でした。まず、朝霧高原で富士花鳥園の見学。見たこともない色とりどりの超大輪のペゴニアの数々。天井から垂れ下がるフクシア。日野草しだに圧倒されました。音もなく飛ぶフクロウの飛行ショーも珍しく楽しいものでした。いよいよ熱海です。梅園の梅はまだ三分咲きでしたが、門前のあたま桜は満開で濃い目のピンクで一行を迎えてくれました。お宿は



「熱海金城館」お風呂を堪能しあとはお楽しみ大宴会。翌日は、河口湖近くの久保田一竹美術館へ。「幻の辻が花」染めと絞りの芸術の殿堂です。一目見ただけでその色彩の迫力と豪華さに圧倒させられます。はかり知れない絞っては染め、染めては絞るその精緻な手技の見事さは息を飲む美しさです。いつまでも見たい。そんな美術館でした。



美術館作品展示室



一年中満開を続ける極大輪のペゴニア

その後フレンチの昼食(ワイン付き)ワイン工場見学で行程を終えました。花に酔い美に酔い美酒に酔った楽しい旅行でした。次回は皆様ぜひ一緒に。

編集後記

会社の、私の席から千曲川が見える。太古の昔からこの川はあるのだろうか。台風や大雨のたびにその流れは変わっているのだ。本流が変わり、今まで流れていたところが水溜りになっている。

昨年の大恐慌はひどかった。その傷跡は深刻なもので、いまだに経営者や店主はもがき苦しんでいる。流れが変わったことに気づく。私達はまだ、新しい流れを見つけられないでいるのかもしれない。しかし、もうしばらくの辛抱だ。必ず見つかることを確信している。なぜなら、「千曲川」はそこにあるのだから。(関戸)

広報編集委員会

- 委員長 関戸 啓司
- 副委員長 入部 和夫
- 委員 池田 尚弘
- 佐藤 洋子
- 中島 新一
- 滝澤 洋子
- 宮下 智彦